

駒大 000 000 011=2  
亜大 210 010 24×=10

# 投手陣乱調、

## 反撃及ばず三連敗

### 駒大2-10 亜大

#### 1回戦

2015年度秋季リーグ戦  
第5週 9月29日  
0勝1敗

	打安点
(4)米 満	300
H4 田中佑	200
(8)小 川	421
(6)前 田	400
(7)川 合	300
H 伊藤修	100
DH永 山	210
RD島 田	000
H 松 尾	000
(3)内 山	400
(9)長谷川	300
H 高 石	110
(5)巻 木	320
(2)高橋亮	200
H 恒 川	110
R 林 慧	000
2 岡 田	001
計	3372

回	打安責
●今 永 5	2333
片 山 3	1863

初戦の先発はエース今永。「自分の力が出せていない」と語ったように、万全とは言えない投球となった。

初回、味方の失策で走者を出すと、2点本塁打を浴び、先制点を許してしまう。これ以上の失点は避けたいところであったが、2回、5回と四球で走者を背負うと、後続を打ち取れず5回4失点でマウンドを降りた。

後を任された片山は7回、一死から三者連続で安打を放たれ、2点を奪われる。さらに、8回

勝ち点0で迎えた亜大戦。絶対に負けられない初戦だったが、今永昇太(経4)、片山雄貴(商4)の4年生投手陣が、相手打線に攻略され大量失点。打線は終盤に追い上げを見せるも、反撃及ばず。専大戦から3連敗となった。



【右】今季初登板となった片山

文Ⅱ二宮優里亜  
写真Ⅱ笠原嘉高

には打者一巡の猛攻を受け、4失点。意地を見せることはできなかった。打線は7回まで、好機を作るも生かせず沈黙。終盤には連続安打で出塁するも、10点差を埋めることはできなかった。

#### 2回戦

2015年度秋季リーグ戦  
第5週 9月30日  
1勝1敗

### 東野完封！

### 雪辱果たし第三戦へ

亜大 000 000 000=0  
駒大 200 000 20×=4

### 亜大0-4駒大☆

初回、米満一聖(市2)の二塁打と相手の野手選択などで無死2、3塁とする、これまでの試合の流れを払拭するかのごとく、前田混平(法4)の左中間への2点二塁打で先制する。

先発東野は序盤ピンチを招くものの落ち着いた投球を見せ、味方の援護を待つ。

チャンスは7回にやってきた。6回に守備から入った恒川は、2死1塁の場面で試合を決定づける大学1号の右越2点

二回戦、初回に2点の先制点を挙げる。その後チャンスを作るこゝが出来なかったが7回、2死1塁から恒川大輝(法2)が放った2点本塁打が決定打となった。投げては東野龍二(商2)が9回7安打完封の好投を見せ、勝負を第三戦に持ち込んだ。

	打安点
(4)米 満	410
(8)小 川	300
(6)前 田	312
DH永 山	300
(7)岡 田	200
(3)内 山	200
3 恒 川	112
(5)巻 木	310
(9)長谷川	200
PH松 尾	100
9 中川昌	000
(2)高橋亮	300
計	2744

回	打安責
○東 野 9	3670

文Ⅱ寒川朋子

これまで投打のかみ合わない試合が続いていた駒大。勝ちという結果の中でも、主将の巻木周平(経4)は「凡退している打者やその内容が全然変わっていない」と次に向けての反省を語った。

東野は、序盤こそ危なかったものの、気迫あふれる好投で相手打線を9回7安打無失点に抑えた。「ここで負けたら最下位なので絶対勝とうと思っていた」と勝ちへの思いを滲ませた。

本塁打を放った。西村監督は恒川について「しっかりと振れている。この夏から力を発揮し始めて今日も自分のスイングができていた」と活躍を振り返った。